

昨年が続いてメキシコ独立記念セレモニーを執り行いました
～セレモニー後には、「メキシコ音楽と食事を楽しむ交流会」を開催～

メキシコ独立記念日の前日、9月15日（金）18時より、リーガロイヤルホテル広島32階において、昨年が続いて在広島メキシコ合衆国名誉領事館、当親善協会共催のメキシコ独立記念セレモニーを執り行いました。

当日の参加者は総勢70名を超え、8月に行われたグアナファト州青少年交流として、グアナファト州を訪問した広島県内の高校生10名のうち、9名がセレモニーに参加しました。

はじめに、主催者を代表して、今回所用により参加が叶いませんでした菖蒲田会長（在広島メキシコ合衆国名誉領事）の代理で同名誉副領事、マツダ株式会社の吉原専務執行役員が挨拶を行い、続いて、来賓として当親善協会顧問の広島県湯崎知事の代理で参加された杉山地域政策局長から、ご挨拶をいただいた後、メキシコ国旗が入場し、セレモニーが始まりました。



主催者を代表して挨拶をする在広島メキシコ合衆国名誉副領事、マツダ株式会社の吉原専務執行役員



来賓として挨拶をする広島県 杉山地域政策局長

今回も独立の叫び「グリート」は、会員のマヌエル・アビレスさんに行っていました。アビレスさんが発する言葉に参加者は「ビバ！（万歳）」と繰り返し応え、その後独立の鐘が鳴らされ、全員でメキシコ国歌を斉唱し、セレモニーを終えました。



独立の叫び「グリート」に続いて、独立の鐘を鳴らすアビレスさん

続いて、東京より招聘した三人編成の“マリアッチ・カラベラ”の演奏が始まると中島エノ理事に促され、参加の高校生などの踊りの輪が出来上がり、独立記念を祝福しました。



セレモニー終了後、参加者の記念撮影

セレモニー後には、同ホテル内の場所を移して「メキシコ音楽と食事を楽しむ交流会」を開催しました。当親善協会理事、住友商事株式会社森藤中国支社長の乾杯で、交流会が始まり、参加者は“マリアッチ・カラベラ”の演奏と同ホテルのご厚意によりメキシコ料理が提供されなど、会員間の交流も大いに図られました。



交流会で演奏する“マリアッチ・カラベラ”



大いに盛り上がった交流会もフィナーレを迎えました

友好提携10周年を迎える来年は、これらのイベントを更に盛大なものにしてまいりますので、会員の皆様からのご支援よろしくお願ひ申し上げます。